



▲税務課

## 財政健全化 税収担当課の新設を

答弁：組織の見直しを検討

西川 厳しい経済危機の中、税及び料金のすべてを徴収するシステム「税収担当課」を新設することが町には一番の策と思うが。



西川 蓉子 議員

西川 厳しい経済危機の中、税及び料金のすべてを徴収するシステム「税収担当課」を新設することが町には一番の策と思うが。

町長 行財政改革をしても効果を上げるところまでいかない厳しい状況、3案提案があり検討する。自治体を取り巻く環境も大きく変まっている。そのことも含めた組織の見直しを今後検討していく。貴重な税収また財源を看過することはない。

西川 住民サービス、住民サービスと今迄はそれでよかったが、今後、施設使用料の減免措置、廃止も含め検討されるのか。



▲志免町の母子手帳等

## 母子の健康

### パスポートの発行を

答弁：電子化で進む方向性

助村 一生を通して健康を守るツールとして、予防接種や病歴、健診、出産などの情報を一冊に記載する健康パスポートの発行を提案する。

健康課長 平成24年に病院のカルテが電子化の予

定。ICカードで健康管理ができるようになる。

助村 国は14回の妊婦検診の無料化の道筋をつけたが町の考えは。

町長 粕屋地区市町長会で14回の申合せを行った。

認可外保育所への支援

答弁：協議し考えていく

助村 安心こども基金は保育の質の向上のための研修事業に使えるが、認可外保育所への研修など

の支援はできないのか。

子育て支援課長 基本的に市町村が行う事業に対する補助金。市町村の考え方で事業を行えば、参加を呼びかければ良いと思う。

町の負担もあるので協議しながら考える。

〔その他の質問〕

●携帯電話中継基地について

町長 公共施設等の使用料については公共性、利用促進などを勘案、一部料金改定はしたが全体的な減免措置の見直しに至らず、厳しい財政状況、また納税者、利用者の公平公正の観点から受益者負担の見直しをし、22年度から順次実施していく。

町長 公共施設等の使用料については公共性、利用促進などを勘案、一部料金改定はしたが全体的な減免措置の見直しに至らず、厳しい財政状況、また納税者、利用者の公平公正の観点から受益者負担の見直しをし、22年度から順次実施していく。



▲庁舎内某課

## 町内会制度

### 見直しなどの方向性

答弁：協議会を設置し検討

二宮 美津代 議員



二宮 全国的な流れとして、自治とは何かを考える動きの中で、自治会活動の在り方が論じられている。志免町の町内会制度について、見直し・廃止など町の考え方を問う。

町長 住民と行政の協働

プロジェクトの提言に沿った、コミュニティの見直しを協議会を設置し検討する。この事業の推進には町内会長の理解と協力が不可欠である。いずれにしても慎重に行う。

公文書の管理状況は

答弁：ファイル基準遵守

二宮 公文書のずさんな管理が問題となっている。文書管理の中でも保存期間は過ぎていくが、町に

とって重要な文書など、永久保存すべきかどうかその取り扱いはどうに行われてきたのか。

総務課長 平成5年に導入したファイリングシステムの基準表に基づいて行っている。

今後「公文書管理法」の制定も考えられ、全国的な統一基準に沿った文書管理を行う。

## 行政サービス 日本一を目指せ

答弁：各課で努力をする



牛房 良嗣 議員

牛房 金がなければ行政サービスはできないのか、明るさの見えない社会だからこそ自治体の頂点日本一を目指し、行政サービスの向上に取り組んで貰

いたい。

住民課長 窓口の対応が町のイメージをつくる、笑顔で挨拶、分り易い説明に迅速な接遇など職員自身が対応している。

子育て支援課長 高齢者、障害者、妊婦、乳幼児等々へ定期配信をしている。わくわくカレンダー発行の助成もしている。

健康課長 高齢者、乳幼児など家庭内の事が分らないので、訪問事業を重視するようにしている。

税務課長 当り前のことが当り前にできるという事を基本にしている。

牛房 厳しい大変だという話ばかりで、不安な思いを持っている方が多い。90億円の予算でどういう町をつくるのか、町民のくらしはどうなるか、明確なビジョンを示せ。

町長 行政と一体となつて、活力のある町に行き。そういうビジョンを示す事が必要。



▲庁舎1階ロビー